

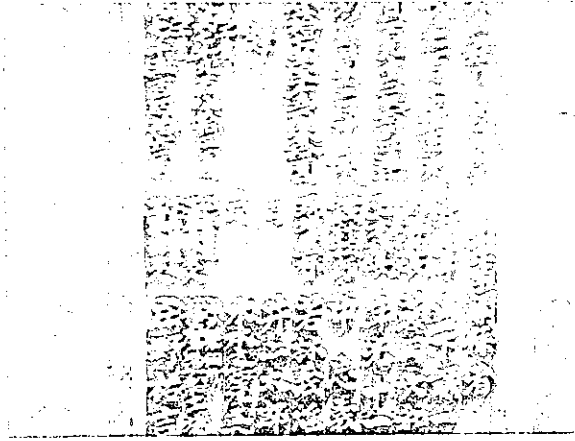
5 国道五十五号線

年代（西暦）	国道五十五号線の事項
昭和二十八年（一九五三） 昭和三十七年（一九六二） 昭和三十九年（一九六四） 昭和四十年（一九六五）	政令第九十六号により二級国道高知徳島線となる。路線番号一九四号 政令第一八四号により一級国道五十五号線となる 政令第五百五十九号により建設省直轄指定区間となる 政令第五十八号により一般国道五十五号線となる

6 国道五十五号線バイパス

昭和四十四年(一九六九)を、宮倉〜高田間に、旧羽ノ浦商店街の交通ラッシュを緩和するために五十五号線バイパスが開通した。バイパス開通とマンモス団地(春日野団地)の完成等によって、宮倉の国道沿線には大型量販店「スーパーコーワ」「スーパーキョーエイ」「ベターライフ」「ジャスト」その他、諸種の商店が進出、開店し、新しい商業地域が形成されている。

三 那賀川橋の開通



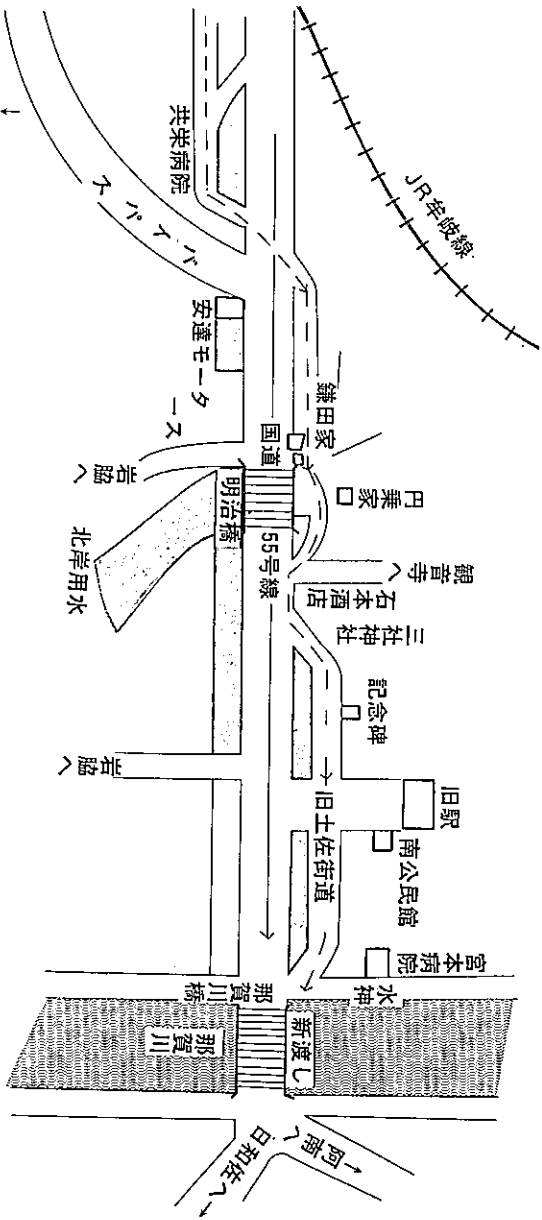
那賀川鉄橋銘板

那賀奥一帯に豪雨が連日にわたる時は、下流の古庄の「渡し」は川止めになった。時には数日にもわたって南北の交通が杜絶とだえて、人々の往来、物資の輸送に不便をかこつことが多かった。が、昭和三年（一九二八）十月那賀川に鉄の永久橋が架けられた。「形式は曲弦ワールントラスト式で、経間五十八、五二米、鉄橋全長二百三十五・九一米、有効幅員六・〇九米、工費百七十五万五千五百三十円」という銘板が、古庄側鉄橋の取付部右側裏に残されている。

その後那賀川南岸改修の時、堤防を南へ後退したため、鉄橋の南端に接続して、コンクリート橋百一米を付け加えたので、両者合わせて、三百三十六、八二米となったのである。

そこで橋の両端に国道の取り付け改修として、南端は取り敢えず南島沿いの堤防に傾斜路をつけて、自動車通行に支障のないような新道路となった。北岸沿いの古庄方面では、羽ノ浦元標から共栄病院の東を通り、鉄橋に向かって殆ど一直線に徹底的に改修された。そこで、中間にあたる高田、畷地区の一部では旧国道が一部廃道となったところがある。また、古庄の旧町筋の西側に新道路が設けられたために、商家は順次移転して「新町」と呼ぶ市街地となり面目を一新するようになった。

四 那賀川橋開通以前の旧道の見取図



五 古 庄

-----点線 那賀川橋開通前の旧道の路図 (土佐街道)
那賀川橋開通以前の旧道見取図 (図表27)